



2022年12月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2022年5月12日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社コーセー
 コード番号 4922 URL http://www.kose.co.jp/
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 小林 一俊
 問合せ先責任者 (役職名) IR室長 (氏名) 花倉 浩子 TEL 03-3273-1511
 四半期報告書提出予定日 2022年5月13日 配当支払開始予定日 ー
 四半期決算補足説明資料作成の有無: 有
 四半期決算説明会開催の有無: 有

(百万円未満切捨て)

1. 2022年12月期第1四半期の連結業績(2022年1月1日~2022年3月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年12月期第1四半期	59,013	—	370	—	3,030	—	1,437	—
2021年12月期第1四半期	58,770	—	3,456	—	3,733	—	2,378	—

(注) 包括利益 2022年12月期第1四半期 4,480百万円 (—%) 2021年12月期第1四半期 5,899百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2022年12月期第1四半期	25.20	—
2021年12月期第1四半期	41.69	—

(注) 2021年12月期第1四半期は、当社及び3月決算であった国内連結子会社は2021年4月1日から2021年6月30日まで、12月決算であった連結子会社は、2021年1月1日から2021年3月31日までを連結対象期間としています。そのため、対前年同四半期増減率を記載していません。

[参考]

下記の%表示(調整後増減率)は、前年同期実績を2021年1月1日から2021年3月31日とした増減率です。

売上高 営業利益 経常利益 親会社株主に帰属する四半期純利益 (単位: 百万円)
 61,293 △3.7% △458 —% 2,740 10.6% 105 —%

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2022年12月期第1四半期	316,529	255,143	75.6	4,194.44
2021年12月期	320,018	254,267	74.5	4,178.06

(参考) 自己資本 2022年12月期第1四半期 239,292百万円 2021年12月期 238,357百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2021年12月期	—	60.00	—	60.00	120.00
2022年12月期	—	—	—	—	—
2022年12月期(予想)	—	70.00	—	70.00	140.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無: 無

3. 2022年12月期の連結業績予想(2022年1月1日~2022年12月31日)

(%表示は、通期は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	293,000	—	22,000	—	22,600	—	16,500	—	289.22

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無: 無

[参考]

下記の％表示（調整後増減率）は、2022年12月期（2022年1月1日から2022年12月31日）に対応する前年同一期間（2021年1月1日から2021年12月31日）と比較した増減率です。

売上高	8.9%	営業利益	40.4%	経常利益	2.5%	親会社株主に帰属する当期純利益	48.2%
268,992		15,672		22,050		11,135	

（単位：百万円）

※ 注記事項

（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 ー 社（社名）ー、除外 ー 社（社名）ー

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- | | |
|----------------------|----|
| ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | ：無 |
| ② ①以外の会計方針の変更 | ：無 |
| ③ 会計上の見積りの変更 | ：無 |
| ④ 修正再表示 | ：無 |

（４）発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2022年12月期 1 Q	60,592,541株	2021年12月期	60,592,541株
② 期末自己株式数	2022年12月期 1 Q	3,542,702株	2021年12月期	3,542,672株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2022年12月期 1 Q	57,049,859株	2021年12月期 1 Q	57,047,700株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が発表日現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は経済情勢の変動等に伴うリスクや様々な不確定要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定等については、四半期決算短信（添付資料）3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（2）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
（1）経営成績に関する説明	2
（2）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
（1）四半期連結貸借対照表	4
（2）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
（継続企業の前提に関する注記）	8
（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）	8
（追加情報）	8
（セグメント情報等）	9
（収益認識関連）	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

第1四半期連結累計期間(2022年1月1日から2022年3月31日まで)

セグメントの名称	前第1四半期		(調整後) 前年同期		当第1四半期		(調整後) 前年同期比較	
	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)	増減額 (百万円)	増減率 (%)
化粧品事業	48,607	82.7	45,726	74.6	46,732	79.2	1,005	2.2
コスメタリー事業	9,867	16.8	15,051	24.6	11,828	20.0	△3,223	△21.4
その他	295	0.5	515	0.8	452	0.8	△62	△12.2
売上高計	58,770	100.0	61,293	100.0	59,013	100.0	△2,280	△3.7

区分	前第1四半期		(調整後) 前年同期		当第1四半期		(調整後) 前年同期比較	
	金額 (百万円)	売上比 (%)	金額 (百万円)	売上比 (%)	金額 (百万円)	売上比 (%)	増減額 (百万円)	増減率 (%)
営業利益	3,456	5.9	△458	-	370	0.6	829	-
経常利益	3,733	6.4	2,740	4.5	3,030	5.1	289	10.6
親会社株主に帰属する 四半期純利益	2,378	4.0	105	0.2	1,437	2.4	1,332	-

※上記前年同期比較(調整後増減率)は、「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号)等を遡及適用したと仮定して前年同一期間(2021年1月1日から2021年3月31日)と比較した増減です。

当第1四半期連結累計期間(2022年1月1日から2022年3月31日まで)における日本経済は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により依然として厳しい状況にありましたが、2022年3月22日に、まん延防止等重点措置が解除されたこともあり、持ち直しの動きが続いています。

当社グループが主に事業展開しているアジア・米国経済においては、中国ではゼロコロナ政策による活動制限により減速感が強まっていますが、それ以外のアジア各国での景気は持ち直しています。米国の景気は堅調に推移しています。

日本の化粧品市場においては、外出自粛に加えマスク着用の常態化により、メイクアップ市場をはじめとして回復に遅れが生じています。

アジア・米国の化粧品市場においては、中国では昨年からのゼロコロナ政策による、上海など主要都市でのロックダウンによる厳しい外出・行動制限により、店頭での消費は低迷しました。それ以外のアジアについては、新型コロナウイルス感染症拡大により、引き続き厳しい状況となっています。米国では、マスク着用義務が全州で撤廃され日常が戻りつつあり、需要が着実に回復しています。

このような市場環境の中、当社グループにおいては、過去の苦しい局面においてピンチをチャンスに変えてきた経験・ノウハウを有しており、今後もグローバル・ボーダレスに事業を拡大していくために、リスクに強い企業に進化すべく、課題に取り組み改革を進めています。

当第1四半期連結累計期間における当社グループの業績については、欧米の販売が好調だったものの、中国での新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受け、売上高は調整後前年同期比3.7%減の59,013百万円(為替の影響を除くと調整後前年同期比5.9%減)となり、連結売上高に占める海外売上高の割合は38.1%となりました。

利益については、全社的なコストコントロールにより、営業利益は370百万円(調整後前年同期は458百万円の営業損失)、経常利益は為替差益の発生により、3,030百万円(調整後前年同期比10.6%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は1,437百万円となりました。

化粧品事業においては、「デコルテ」が日本で引き続き好調に推移しましたが、中国および韓国において、新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受け苦戦しました。それ以外の主要ブランドでは、「アルビオン」や「タルト」、「カルテHD」などが好調に推移しました。これらの結果、売上高は46,732百万円（調整後前年同期比2.2%増）、営業利益は1,810百万円（調整後前年同期は120百万円の営業損失）となりました。

コスメタリー事業においては、コーセーコスメポート(株)の「クリアターン」や「ジュレーム」が好調に推移しましたが、昨年の反動もあり、売上高は11,828百万円（調整後前年同期比21.4%減）、営業損失は498百万円（調整後前年同期は1,039百万円の営業利益）となりました。

その他の事業は、アメニティ製品の販売やOEM生産の受注が減少した結果、売上高は452百万円（調整後前年同期比12.2%減）、営業利益は183百万円（同20.7%減）となりました。

地域別売上高(外部顧客に対する売上高)の状況

	前第1四半期		(調整後) 前年同期		当第1四半期		(調整後) 前年同期比較	
	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)	増減額 (百万円)	増減率 (%)
日本	33,788	57.5	37,917	61.9	36,557	61.9	△1,360	△3.6
アジア	17,874	30.4	16,288	26.6	14,082	23.9	△2,206	△13.5
北米	6,447	11.0	6,449	10.5	7,325	12.4	876	13.6
その他	659	1.1	637	1.0	1,047	1.8	409	64.2
売上高計	58,770	100.0	61,293	100.0	59,013	100.0	△2,280	△3.7

<日本>

日本は、化粧品専門店と百貨店チャネルが昨年に引き続き好調に推移しましたが、ドラッグストアなどのマスカチャネルにおいて敏感肌市場ではシェアを拡大したものの、その他主要ブランドが苦戦したことにより、売上高は36,557百万円（調整後前年同期比3.6%減）となりました。

<アジア>

中国は、本土での新型コロナウイルス感染症拡大や主要都市でのロックダウンによる、百貨店の営業停止やサプライチェーン停滞などの影響を受け、減収となりました。海南島を中心とした中国の免税事業は、3月は新型コロナウイルス感染症拡大による渡航制限の影響を受けたものの、総じてみれば堅調に推移しました。その一方で、韓国の免税事業は、渡航制限により苦戦しました。これらの結果、売上高は14,082百万円（同13.5%減）となりました。

<北米>

タルトは、市場の回復と、コンシーラーやマスカラなど主力商品の強化により、店頭での販売が好調に推移しました。テレビ通販のQVCなども好調に推移し、米国プレステージメイク市場において高いシェアを維持しました。これらの結果、売上高は7,325百万円（同13.6%増）となりました。

<その他>

欧州におけるタルトは、各国で計画を達成するなど、メイクアップブランドの中でも高い成長を維持した結果、売上高は1,047百万円（同64.2%増）となりました。

(2) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2022年2月14日に発表しました通期連結業績予想は変更ありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2021年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2022年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	105,281	101,945
受取手形及び売掛金	44,211	36,636
商品及び製品	34,374	39,224
仕掛品	2,310	2,410
原材料及び貯蔵品	27,059	28,470
その他	4,243	5,981
貸倒引当金	△156	△156
流動資産合計	217,324	214,512
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	52,620	52,492
減価償却累計額	△24,429	△24,803
建物及び構築物 (純額)	28,191	27,689
機械装置及び運搬具	21,902	22,048
減価償却累計額	△15,749	△16,181
機械装置及び運搬具 (純額)	6,152	5,866
工具、器具及び備品	45,211	45,471
減価償却累計額	△38,062	△38,628
工具、器具及び備品 (純額)	7,148	6,842
土地	17,393	17,349
リース資産	2,235	2,248
減価償却累計額	△1,699	△1,672
リース資産 (純額)	535	576
建設仮勘定	132	175
有形固定資産合計	59,554	58,500
無形固定資産		
ソフトウェア	4,293	4,215
のれん	4,615	4,688
その他	5,357	5,294
無形固定資産合計	14,266	14,199
投資その他の資産		
投資有価証券	15,534	15,298
退職給付に係る資産	5,470	5,823
繰延税金資産	3,863	4,190
その他	4,515	4,532
貸倒引当金	△509	△528
投資その他の資産合計	28,874	29,317
固定資産合計	102,694	102,016
資産合計	320,018	316,529

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2021年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2022年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	7,450	8,170
電子記録債務	16,327	17,106
短期借入金	600	1,455
リース債務	177	170
未払金	13,455	9,999
未払費用	10,323	9,787
未払法人税等	1,968	1,741
未払消費税等	1,022	—
返金負債	5,077	4,572
その他	2,734	2,144
流動負債合計	59,136	55,148
固定負債		
リース債務	639	358
繰延税金負債	1,374	1,151
その他	4,600	4,727
固定負債合計	6,614	6,237
負債合計	65,751	61,386
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,848	4,848
資本剰余金	26	36
利益剰余金	228,791	226,806
自己株式	△9,090	△9,090
株主資本合計	224,576	222,601
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	5,830	5,675
為替換算調整勘定	4,389	7,556
退職給付に係る調整累計額	3,561	3,459
その他の包括利益累計額合計	13,781	16,691
非支配株主持分	15,909	15,850
純資産合計	254,267	255,143
負債純資産合計	320,018	316,529

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2022年1月1日 至 2022年3月31日)
売上高	58,770	59,013
売上原価	16,086	18,170
売上総利益	42,684	40,842
販売費及び一般管理費		
広告宣伝費	3,838	4,982
販売促進費	9,317	9,294
運賃及び荷造費	3,810	3,787
給料及び手当	11,946	12,060
退職給付費用	154	59
法定福利費	1,340	1,990
減価償却費	1,104	930
その他	7,715	7,365
販売費及び一般管理費合計	39,227	40,471
営業利益	3,456	370
営業外収益		
受取利息	55	37
受取配当金	218	1
還付消費税等	228	1
特許実施許諾料	4	1
為替差益	—	2,512
雑収入	108	180
営業外収益合計	615	2,735
営業外費用		
支払利息	4	26
支払手数料	3	1
投資事業組合運用損	24	17
為替差損	277	—
雑損失	27	30
営業外費用合計	338	76
経常利益	3,733	3,030
特別利益		
固定資産売却益	0	124
投資有価証券売却益	90	—
特別利益合計	90	124
特別損失		
固定資産処分損	53	51
減損損失	0	53
事業整理損	71	—
割増退職金	—	164
特別損失合計	125	269
税金等調整前四半期純利益	3,699	2,885
法人税、住民税及び事業税	1,133	1,661
法人税等調整額	102	△293
法人税等合計	1,235	1,368
四半期純利益	2,463	1,516
非支配株主に帰属する四半期純利益	84	79
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,378	1,437

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2022年1月1日 至 2022年3月31日)
四半期純利益	2,463	1,516
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	549	△153
為替換算調整勘定	2,961	3,212
退職給付に係る調整額	△75	△96
その他の包括利益合計	3,435	2,963
四半期包括利益	5,899	4,480
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	5,768	4,347
非支配株主に係る四半期包括利益	130	132

（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（追加情報）

（新型コロナウイルス感染症拡大に伴う会計上の見積りについて）

当第1四半期連結累計期間において、前事業年度の有価証券報告書に記載した会計上の見積りの仮定から重要な変更は行っておりません。

（セグメント情報等）

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間（自 2021年4月1日 至 2021年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント			その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	化粧品事業	コスメタリ ー事業	計				
売上高							
(1) 外部顧客に対する 売上高	48,607	9,867	58,474	295	58,770	—	58,770
(2) セグメント間の 内部売上高又は振替高	—	—	—	86	86	△86	—
計	48,607	9,867	58,474	382	58,856	△86	58,770
セグメント利益又は損失(△)	6,338	△1,681	4,657	70	4,728	△1,271	3,456

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、アメニティ製品事業等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額は、以下のとおりであります。

（単位：百万円）

セグメント間取引消去	△29
各報告セグメントに配分していない全社費用	△1,242

全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない当社の管理部門に係る費用及び基礎研究費用であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失、又はのれん等に関する情報

当第1四半期連結累計期間において、重要な事項はありません。

3. 地域に関する売上高情報

（単位：百万円）

日本	アジア	北米	その他	計
33,788	17,874	6,447	659	58,770

II 当第1四半期連結累計期間(自 2022年1月1日 至 2022年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	化粧品事業	コスメタリ ー事業	計				
売上高							
(1) 外部顧客に対する 売上高	46,732	11,828	58,561	452	59,013	—	59,013
(2) セグメント間の 内部売上高又は振替高	—	—	—	92	92	△92	—
計	46,732	11,828	58,561	544	59,105	△92	59,013
セグメント利益又は損失(△)	1,810	△498	1,312	183	1,495	△1,124	370

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、アメニティ製品事業等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額は、以下のとおりであります。

(単位：百万円)

セグメント間取引消去	55
各報告セグメントに配分していない全社費用	△1,180

全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない当社の管理部門に係る費用及び基礎研究費用であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失、又はのれん等に関する情報

当第1四半期連結累計期間において、重要な事項はありません。

3. 地域に関する売上高情報

(単位：百万円)

日本	アジア	北米	その他	計
36,557	14,082	7,325	1,047	59,013

(収益認識関連)

収益の分解情報

当社グループは、「化粧品事業」及び「コスメタリー事業」の2つの報告セグメントに区分しており、当該報告セグメントは、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績の評価をするために、定期的に検討を行う対象としていることから、これらの2事業で計上する収益を売上高として表示しております。また、地域別の収益は、顧客の所在地に基づき分解しております。これらの分解した収益とセグメント売上高との関連は、以下のとおりであります。

前第1四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)

	日本	アジア	北米	その他	合計
化粧品事業	23,980	17,519	6,447	659	48,607
コスメタリー事業	9,512	355	—	—	9,867
報告セグメント計	33,492	17,874	6,447	659	58,474
その他(注)	244	—	—	—	244
顧客との契約から生じる収益	33,736	17,874	6,447	659	58,718
その他の収益	51	—	—	—	51
外部顧客への売上高	33,788	17,874	6,447	659	58,770

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、アメニティ製品事業等を含んでおります。

当第1四半期連結累計期間(自 2022年1月1日 至 2022年3月31日)

	日本	アジア	北米	その他	合計
化粧品事業	24,463	13,895	7,325	1,047	46,732
コスメタリー事業	11,641	186	—	—	11,828
報告セグメント計	36,105	14,082	7,325	1,047	58,561
その他(注)	400	0	—	—	400
顧客との契約から生じる収益	36,505	14,082	7,325	1,047	58,961
その他の収益	51	—	—	—	51
外部顧客への売上高	36,557	14,082	7,325	1,047	59,013

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、アメニティ製品事業等を含んでおります。